

# 新たな舞台表現の追求と境界を越えた交流「ニシガワ図鑑V」

## 「ニシガワ図鑑」実行委員会

### 活動の目的

各ジャンルで活動する舞台表現者が、ジャンルの枠を超えコラボレートし、互いに刺激し合いながら創作する過程で交流することで、新たな表現への挑戦のきっかけを得る。準備期間から公演までの「舞台芸術を軸としたムーブメント」を通じて、舞台表現者のみならず多数の関わる人達や観客をも含めて、互いのバックグラウンドや役割の境界を越えた人間同士の生の交流と理解の場が市民の手によって確保される社会を目指す。

### 活動の内容及び経過

2020年2月：会場の西川アイプラザ5Fホールの改修工事のため本番日程を変更する。基本計画作成。3月～7月：参加者募集・決定（3チーム+特別企画+2関連企画）。各チームはクリエイションへ進む。演出家関美能留氏へ総合演出の依頼。（有）オールライト熊本光成氏へ舞台美術の依頼。9月：各チームの代表者と実行委員会との合同会議の実施。運営委員会の発足。チラシの作成・配布・郵送、web上での情報公開。10月・11月：各チームと照明・音響・舞台進行担当との打合せを随時実施。演出家との打合せはリモートで行う。

11月28日（関連企画）29日（Aチーム2回公演）12月4日（Bチーム1回公演）5日（Bチーム1回公演、特別企画）12月11日（関連企画）12日（Cチーム2回公演）を行う。

演劇+ダンス/舞踏+映像+人形/人形浄瑠璃をベースにした創作人形劇+歌唱（参加者公募・手話通訳付き）/対談等、ジャンルを超えた舞台表現を実施。

■参加者：36名、観客：のべ159名、スタッフ（実行委員は除く）10名

### 活動の成果・効果

- 各チームは、主になる表現方法に加え異なるジャンルのアーティストとの共演で、新たなインスピレーションやアイデアを得たことにより、総合的な舞台表現の模索や効果的な演出等の工夫を凝らし、奥行きのある舞台芸術を試みる事ができた。
- 各チームの目指す舞台表現の実現に向けて、参加者・スタッフが一体となって積極的な情報の共有や流動的な役割分担ができ、互いに信頼し合う関係を築くことができた。結果、より完成度の高い本番を迎えることが可能となり、来場者（観客）には生の舞台の味わいや雰囲気を楽しんでもらえた。
- 新型コロナウイルス感染拡大予防については、準備段階から本番に至るまで、でき得限りの対策を講じ、無事会期を終えることができた。これは前回のコロナ禍初期



11/29「生命と環境の舞台図鑑II」



12/4・5「降って来るッ! 舞踏図鑑」



12/5 特別企画:対談 内藤裕敬×関美能留



12/12「新しい人形劇図鑑」

の開催の実績と経験が大いに活かされた結果となり、活動継続の意義を実感するとともに、生の舞台の世界観と舞台芸術における「今」を創出し、共感する場としての役割を果たしていくことの重要性を強く感じた。

### 今後の課題と問題点

コロナ禍において参加者の応募、スタッフの確保、観客動員が難しい現況の中、どのように活動を維持し、厳しい状況乗り越え、継続していくか。そのためにも活動を通じて、参加者・スタッフ・観客が、対価を超えたお互いの価値を再発見し得る場をどのように創っていくか。

- 代表者：額田信一 ●所在地：岡山市北区津高台
- TEL：086-252-3910 ●E-MAIL：westside\_zukan@yahoo.co.jp
- URL：https://nishigawa-zukan.com
- 設立年：2016年 ●メンバー数：15名